

業務プロセス改善に係る検討状況について

業務プロセス改善に係る検討状況について

原子力部門戦略会議にて課題・問題点の把握や適切な処置を行うべき重要課題については、ワーキンググループを設置し活動を行うこととしているが、発電所における業務運営のマネジメントの問題点を解決するため、「業務プロセス改善ワーキング」を平成 22 年 6 月 29 日に設置、活動を実施しており、活動状況について聞き取り確認を行った。

確認内容

(1) 目的

発電所における業務運営のマネジメントの問題点を解決するため、発電所内の重要課題を統括し、自らプロセスの改善を行うとともに、原子力強化プロジェクトからの改善提案を発電所の視点から分析、検討および適用するための計画、プロセスを策定する。

(2) 活動内容

業務プロセスの現状確認と問題点の洗い出し

業務プロセス改善ワーキングでは、保安 6 業務（保守管理、運転管理、燃料管理、放射性廃棄物管理、緊急時措置）、設計監理、調達管理プロセスを対象とし、業務ヒアリング（各課との意見交換など実務者レベルとのヒアリング）により業務プロセス現状確認と問題点の洗い出し（長所、短所、弱点の把握）を行うとしている。業務ヒアリングによる問題点抽出のコンセプトは下記のとおり。

- ・ 日常の気づき事項等、従来の不適合処置で処理されなかった小さな問題点を含め、各課実務者と意見交換を行うことにより小さな問題点まで抽出する。
- ・ 協力会社の要望等も意見交換により、または聞き取りにより抽出する。
- ・ 原子力強化プロジェクトメンバーとも連携して実施する。

また、島根原子力発電所を取り巻く外部環境の変化に係る分析や、業務運営マネジメントに関する他社事例の調査を行い、業務ヒアリングを含めて、業務プロセス改善を検討するためのインプット情報とすることを確認した。

業務プロセス改善のためのアプローチ

業務ヒアリング、他事業者の事例調査、外部環境変化をインプットに、長期的に取り組むべき課題と、今すぐ取り組む必要がある課題とに分けて、分析及びアクションプランの策定を進める方針であることを確認した。

また、業務プロセス改善ワーキングは、点検計画・計画表見直しワーキングのバックアップとして、国内外の事業者の保全方式の選定状況や保全リスク等の情報を収集・分析することにより、現行の点検計画の高度化や信頼性向上を図る方針であることを確認した。